

市長施設視察

7月3日（金）、銚子市の越川信一市長と障害福祉課の名雪 隆課長、佐野仁美課長補佐が来所されました。

これは、平成27年度から3年間かけて行われる「第4期銚子市障害福祉計画」に基づき、施設がどのように事業運営や支援を行っているか等の視察を目的に行われたものです。

しおさいでは、山本施設長と田村主任が対応して、パンフレットを示しながら、事業内容や運営状況等を説明し、課題も含めて現状を理解して頂きました。

越川市長は、メモを取りながら真剣に話し聞いて下さいました。

この日は、しおさい三崎の他、しおさい春日、かんらん、のぞみ（別法人）への視察も行われました。

ちなみにこの視察は7日（火）にも行なわれ、銚子の福祉まつりにも毎年参加している神栖市の社会福祉法人しあわせ会「ハミングハウス」と、利用者の半分が銚子市民という同じく神栖市の社会福祉法人鴻恩会「潮風の郷」も訪れたと、地元日刊紙が報じていました。



▲越川市長（写真右端）に説明する山本さん



実地指導 実施

7月16日（木）、千葉県印旛健康福祉センター（印旛保健所）監査指導課の職員2人が来所して「実地指導」が行われました。

これは「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」（障害者総合支援法）に基づき、就労継続支援B型事業所は毎年行うことになっていて、しおさいは平成25年、26年に続いて3回目の実地指導でした。

まず、しおさい春日の室内（提出書類通りに使用されているか）を確認後、しおさい三崎に移動して各部屋を巡視しました。その後、事前に提出してあった「指導調書」を基にして、運営や支援、書類の作成、管理、保管等が適切に実施されているか、聞き取りや書類の確認で指導が行われました。

その結果、書類の記載不備を指摘された他、苦情処理、事故発生時、緊急時の対応マニュアルを作成するよう指導がありました。これ以外でも細かい指摘や指導を頂きましたので、合わせて順次改善して行きたいと思っております。その際、職員やメンバーの皆さんに協力して頂くことがあるかと思っておりますので、その時はご協力をお願いします。



上棟式 挙行

7月30日（木）、銚子市清水町で行われている銚子訪問看護ステーションNEWの建設現場において、工事関係者及び訪看、しおさいの職員が参列して「上棟式」が執り行われました。

式は、建物の要所要所を清めた後、屋根の上に“上棟セット”と呼ばれる飾り（丸扇子や縁起物などを棒に取り付けたもの）を据え付け、施主側を代表して田村さんが屋根に上り、工事関係者と拝礼して、お神酒（みき）を酌（く）み交わしました。

地上で式を見守っていた参列者もお神酒で乾杯して、工事の無事を祈願しました。

真夏の暑い盛りの工事ですので、工事関係者の方々には、熱中症などに気を付けて作業をして頂きたいと思います。



▲工事関係者と上棟式を行う田村さん



▲7月7日（工事開始直後）



▲7月19日（基礎工事中）



▲7月30日（上棟式当日）

畑のトウモロコシとさつまいも



～編集後記～

過日、柏市で行われた研修会に参加した際、昼食時に施設に併設されていたレストランでカレーライスを食べました。研修の参加者や施設来場者の多くの方が気軽に食べられるカレーを注文していましたが、カレーが入っている食器が“アラジンの魔法のランプ”のような形をした銀色の器でした。思い出して見れば、私がこの器を初めて見たのは小学生の頃で、旧波崎町の逆水門のそばにあった「ホテル リオ」のレストランで、その時は結構な衝撃を受けました。ところで、この器の名前を知ってますか？。グレービーボード”といい、1000円～3000円位の値段で買えるようです。家で作ったカレーやレトルトのカレーをこれに入れたらおいしく感じるかも知れませんよ。そんなことより研修内容は理解出来たのかって？。それはもう…。（^_^）

